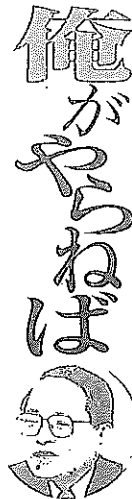


冨田町新潮流 平沢勝栄



俺がやらねば

抑え込めたはずだ。なぜ、世界中に広がる大問題となってしまったのか？どこで間違えたのか？

への重大な挑戦である。日本から不法出国した例は過去にもある。例えば、1973年、韓国で後に大統領になる金大中(キム・デジュン)氏は日本国内で拉致された後、5日後にソウルで発見された。

北朝鮮による拉致事件では多くの日本人が拉致され、北に連れて行かれた。

これらのことから外国の識者のなかには、「日本の出入国はかなりルーズだ」とする者もいる。

法務省はその汚名を返上すべく国際刑事警察機構(ICP)に強く働きかけてきた。そ

新型コロナウィルス問題が世界中を震撼(しんかん)させている。この問題は日本一国では解決できず、各国との連携・協力が不可欠だ。もちろん、国民の全面的な理解と協力も必要となる。

このウィルス問題は、初期の段階できちんと対応していれば

ゴーン被告いまなお逃亡中 日本は「主権」を取り戻せ



の結果、ゴーン被告は現在、国際手配となっている。

しかし、レバノンには内外の情勢が極めて複雑な国である。加えて、日本とレバノンとの間には「犯罪人引渡し条約」がない。これらから、レバノンがゴーン被告を日本に引き渡すことはまず考えられない。

私は警察庁時代に、何度か日本赤軍メンバーを追跡してレバノンに行ったことがある。

レバノン当局には赤軍メンバーの身柄を引き渡しを強く求めた。その時、先方が言っていたのは①なぜ情報機関ではなく警察からくるのか？

②協力した場合に、日本はレバノンに何を与えてくれるのか？

③情報の保秘は大丈夫か？の3点だった。結局、レバノン

は機密情報の提供はしてくれなかったが、身柄の引き渡しには応じたかった。

ゴーン被告は現在、フランスやブラジルの旅券も持っている。しかし、フランス国内には、ゴーン被告への訴追の動きが一部にある。

ブラジルに行けば、経由地で身柄が拘束される可能性がある。結局、ゴーン被告は自分の間、安全なレバノンに引きこもるのでないか。

日本はゴーン被告に逃げられ、世界に大恥をかいた上に、いまだにその身柄を取り戻せないでいる。

性質は違いが、北朝鮮による拉致事件でも日本は被害者を取り返すことがいまなおできていない。

こんなことで、日本はまともな主権国家といえるだろうか。

(自民党衆院議員)

この結果、ゴーン被告は現在、国際手配となっている。

しかし、レバノンには内外の情勢が極めて複雑な国である。加えて、日本とレバノンとの間には「犯罪人引渡し条約」がない。

これらから、レバノンがゴーン被告を日本に引き渡すことはまず考えられない。

私は警察庁時代に、何度か日本赤軍メンバーを追跡してレバノンに行ったことがある。

レバノン当局には赤軍メンバーの身柄を引き渡しを強く求めた。その時、先方が言っていたのは①なぜ情報機関ではなく警察からくるのか？

②協力した場合に、日本はレバノンに何を与えてくれるのか？

③情報の保秘は大丈夫か？の3点だった。結局、レバノン

は機密情報の提供はしてくれなかったが、身柄の引き渡しには応じたかった。

ゴーン被告は現在、フランスやブラジルの旅券も持っている。しかし、フランス国内には、ゴーン被告への訴追の動きが一部にある。

ブラジルに行けば、経由地で身柄が拘束される可能性がある。結局、ゴーン被告は自分の間、安全なレバノンに引きこもるのでないか。

日本はゴーン被告に逃げられ、世界に大恥をかいた上に、いまだにその身柄を取り戻せないでいる。

性質は違いが、北朝鮮による拉致事件でも日本は被害者を取り返すことがいまなおできていない。

こんなことで、日本はまともな主権国家といえるだろうか。

(自民党衆院議員)